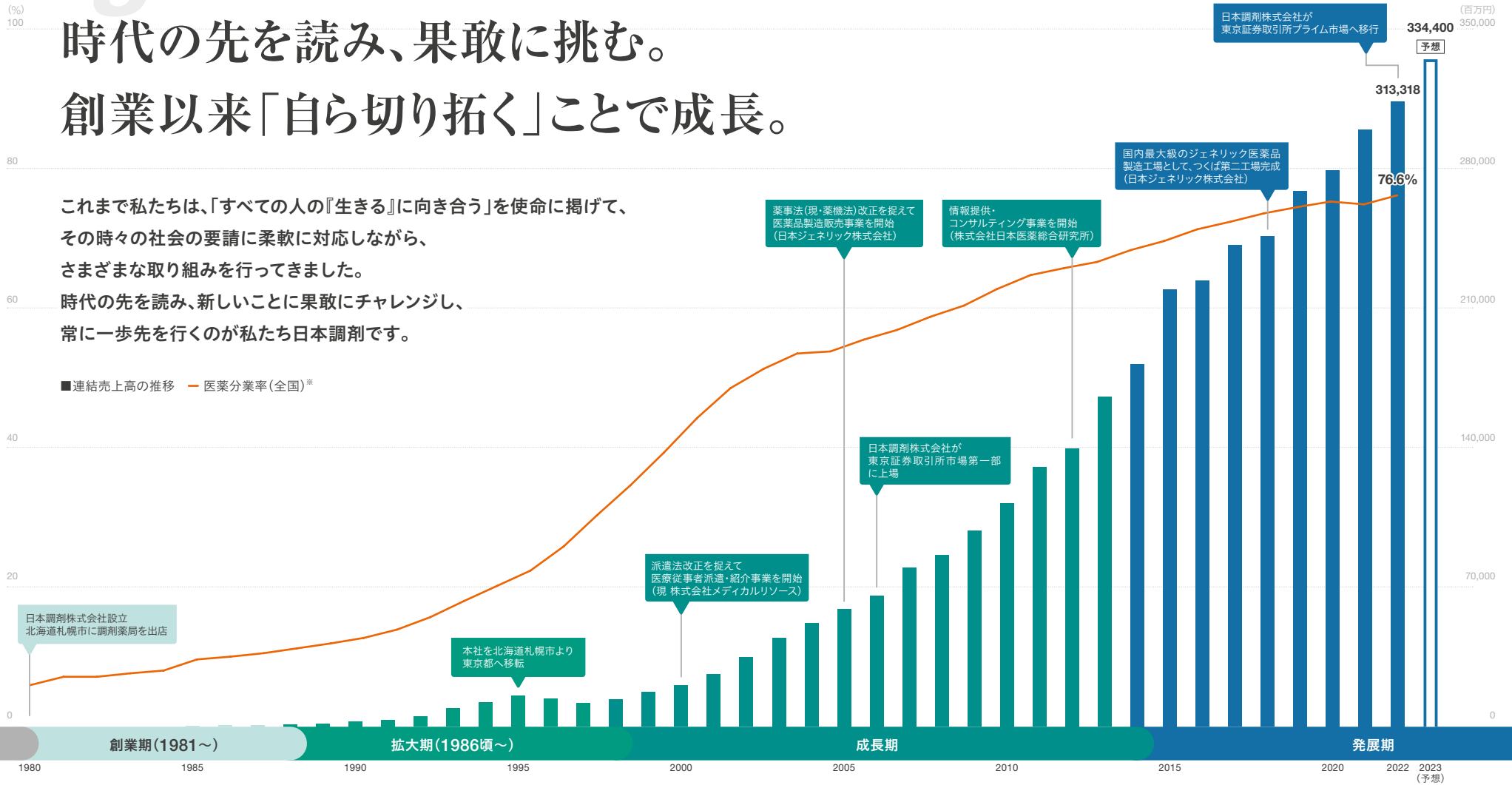


Long-Term Results

時代の先を読み、果敢に挑む。 創業以来「自ら切り拓く」ことで成長。

これまで私たちは、「すべての人の『生きる』に向き合う」を使命に掲げて、その時々々の社会の要請に柔軟に対応しながら、さまざまな取り組みを行ってきました。時代の先を読み、新しいことに果敢にチャレンジし、常に一歩先を行くのが私たち日本調剤です。



NIHON CHOUZAI INTEGRATED REPORT 2023
03
長期の業績

Introduction
Top Message
How We Create Value
Sustainability

Corporate Governance

ゼロから切り拓いた分業マーケット

ほとんどが未分業であった札幌市内の医療機関に分業を促し出店していくことで、自らマーケットを開拓してきました。また、当時独自に生み出した「メディカルセンター」型薬局の展開がドライバーとなり、急成長を遂げていきます。

関東進出から全国展開へ

蓄積された独自の出店ノウハウを活かし、首都圏へと進出。さらに、国の医薬分業促進施策が次々に打ち出された状況から「大型総合病院の門前薬局」の需要拡大を見込み、出店戦略をシフトするとともに、全国へとネットワークを広げていきました。

調剤薬局のリーディングカンパニーへ

2000年代に入り全国平均の分業率が5割を突破。多くの競合他社が小規模薬局を続々と出店するなか、日本調剤は国公立病院や大学病院の分業の動きを察知し、分業促進の動きかけを行いました。これにより現在でも主力店舗として営業している門前薬局が数多く誕生し、業界のリーディングカンパニーとしての地位を築いていきます。

調剤薬局事業の拡大、多角化展開へ

日本調剤は医療課題や需要の変化をいち早く捉え、オンラインの活用や在宅医療への対応など、未来を見据えた挑戦を続けています。また、より多くのステークホルダーの期待に応えるべく、ジェネリック医薬品の製造販売、薬剤師をはじめとする医療従事者派遣・紹介事業の拡大にも注力しており、ヘルスケアグループとしての着実な進化を遂げています。

※引用：日本薬剤師会 医薬分業進捗状況(保険調剤の動向)